

第2回学校運営協議会議事録

校名	府立東百舌鳥高等学校
校長名	青木 浩子

開催日時	令和3年11月10日(水) 14:00 ~ 16:30
開催場所	大阪府立東百舌鳥高等学校 1階 校長室
出席者(委員)	伊井直比呂 会長、梶山尚也 副会長、藺 彰久 委員、西村和彦 委員、小仲久雄 委員
出席者(学校)	青木浩子 校長、夏川照章 教頭、山口俊也 事務長、西川英志 首席、福島洋平 首席、藤木 徹、宮本晋一、伊田清悟、真島 匠
傍聴者	0名
協議資料	令和3年度 学校教育目標の自己評価票、令和4年度使用教科用図書選定理由書、令和4年度使用教科書選定理由一覧表、令和3年度 第1回授業アンケート結果
備考	

議題等(次第順)

- ・授業見学 ・Google for Suitsの機能説明(授業で利用している内容について)・校長挨拶 ・学校運営協議会会長挨拶
- ・協議 (1)令和4年度 使用教科用図書の選定について (2)令和3年度 第1回授業アンケート結果について (3)令和2年度 学校教育目標の自己評価票の進捗状況について (4)「学びに向かう探究学習」取組概要について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- ・令和4年度使用教科用図書の選定理由書に関して満場一致で承認された。
- 質疑・提言等
 - ・(授業見学を通して)ICT機器を使用した授業などもあり、授業を受ける生徒に前向きな雰囲気がある。ただ、ICT機器を使用した授業が進むほど、様々な実体験などを積む機会が損なわれるのではないかと懸念される
⇒SDGsをテーマとした探究学習において、実際のアクションを考えて、実行する授業を実施できている。こうした機会を教育活動の中で重視する
 - ・中学校においても、一学年の全クラス同時授業などが進んでいるが、東百舌鳥高校では実施しないのか
⇒Google Meetsでは一度に通信できる端末に制限があり、高校の一学年の全クラスへの授業は難しい。ただし、複数クラスを同時に実施することは可能である
 - ・校門から見える懸垂幕が古くなってきている、そろそろ変えた方がよい
⇒懸垂幕は校内での作成であるので、劣化が激しい。コロナウイルス感染防止による制限で行われない大会も多く、新たに追加する内容が少ないことが原因
- ご意見・ご感想
 - ・少人数教育を取り入れるなど、授業が手厚く楽しそう。一方で以前と違って、クラスの数が少なくなっていて、先生の人数も少なくなっているのが、現状を維持できるのか懸念がある
 - ・ICT機器と利用した授業は中学でも進んでいる。しかし、高校と機器の仕様が大きく違う。高校においては、これから入学してくる生徒については機器の違いで生じる問題についての対応が必要になる。中学では11月末の考査期間中に小学校に見学に行く。また、学年ごとの一斉配信による授業を実施する
 - ・(本校でのClassiの取組を振り返って)Google導入はさらに様々な機能があり、ますます先進的な授業ができるようであるが、一方で教材研究等はますます大変になる。教員の負担が増えることに懸念がある
 - ・オンライン授業は一方通行な授業になる可能性があり、生徒の主体性の低下から、理解の低下につながることに懸念がある
 - ・(コロナウイルスの感染拡大による教育活動の制限をふまえて)生徒を笑顔で卒業させてあげて欲しい
 - ・ICT機器導入に関する努力が非常に良い、先が楽しみである

次回の会議日程

日時	令和4年2月2日(水) 15:00 ~ 17:00
会場	大阪府立東百舌鳥高等学校 1階 校長室